



泰山木

ホームページ <https://bakuro-e.takaoka-school.jp>



本気

校長 森田 芳栄

「校長先生、ぼくのフラフープ回しは超高速やから目に見えないくらい速いよ。」

「楽しみやなあ。しっかりと、こーんなに目を大きくして見るからね。」

「無理だと思うよ。だって新幹線より速いからね。もっと本気出しちゃおうかな。」

フラフープ回しがうまくない私には、生き生きと話す彼がとても微笑ましく、眩しく感じられました。本番当日は、彼だけでなく博労っ子一人一人が自信に満ち、輝いていました。楽しくてたまらない、見せたくてたまらないという気持ちに溢れていました。1年生をはじめ、各学年の成長ぶりに感動しました。本当に素敵な子供たちでした。

最後のステージに向かう6年生からは、

「行ってきます。がんばってきます。」

「見ていてください。」

と、練習をやり切って当日を迎えた自信や『本気』が感じられました。その言葉通り、有終の美を飾った6年生。史上屈指のミュージカル劇でした。



<6年生 学習発表会にかける思いを黒板に>

6年生の感想に「学習発表会を終えてすっきりしたけれど、ちょっと悲しかったです。

理由は、これまでたくさん練習して、本番でしっかりと決められたのですっきりしたけれど、これが最後の学習発表会だし、もう劇は見られないというのが、とっても悲しかったからです。」とありました。

保護者のある方からは「涙、涙でした。みんな堂々としていて、しっかり演じている姿に、ああ6年生の劇だなあと胸をうたれ、せりふの一つ一つに感動し、最後のメッセージから歌で涙、涙、涙、涙、・・・。」と連絡帳に書いていただきました。

子供たちのがんばり、日々子供たちに寄り添い、泣き笑いしながら伴走した教職員、どんな時も温かく見守り応援していただいた家族の皆様、地域の皆様すべての『チーム博労』の力強さを感じました。これからもその子なりのがんばりや努力を認め、励ましていきたいと思えます。



そして、PTA役員の皆様には、前売り食品販売やお楽しみコーナーの実施、広告募集等々、物心両面からご支援いただき、感謝でいっぱいです。和室とピロティを開放して、少しでも楽しいひとときをとという温かな思いが伝わり、午後からの観客は会場いっぱいでした。『大人の本気は子供に伝染る』—今年度のPTAテーマにあるように、本気で子供のために考え、本気で楽しむ大人の情熱は、きっと子供たちに伝播する！と期待しています。



博労っ子日記「たいさんぼく」



【10月6日（日）】学習発表会 仲間との絆が深まりました



<1年生 アイウエオリババ>



<2年生 博労っ子フェスティバル 2024>



<3年生 英語劇 Momotarou>



<4年生 古今東西 踊りで盛り上がりよう！>



<5年生 ビリーブ・アフリカンシンフォニー>



<6年生 ライオンキング>

安心・安全、幸せなまち～博労～

毎日、地域の方々に支えられ、博労っ子は安心・安全に楽しく学校生活を送ることができ感謝しています。学校では「博労が大好き！」という子供を育てたいと考え、2年生のまちたんけんをはじめ、ふるさとに根差した教材や題材を工夫しています。現在、6年生は、博労という自分たちのふるさとについて考え、どんなまちにしたいのか、そのためにどんなことができるかを考え、民生委員さんに協力していただきながら活動しています。5年生は、安全なまちづくりに尽力しておられる防災士さんと連携して防災について考えていきます。

異世代の方々と関わることで、たくさんの思いに触れることができます。共生の時代において、様々な人たちと関わり、理解に努めていくことはとても大切なことです。先人からいただいた恩を次の世代へと送っていく恩送りを体現していけるといいなあと考えています。



<総合的な学習の時間 保育園訪問>